

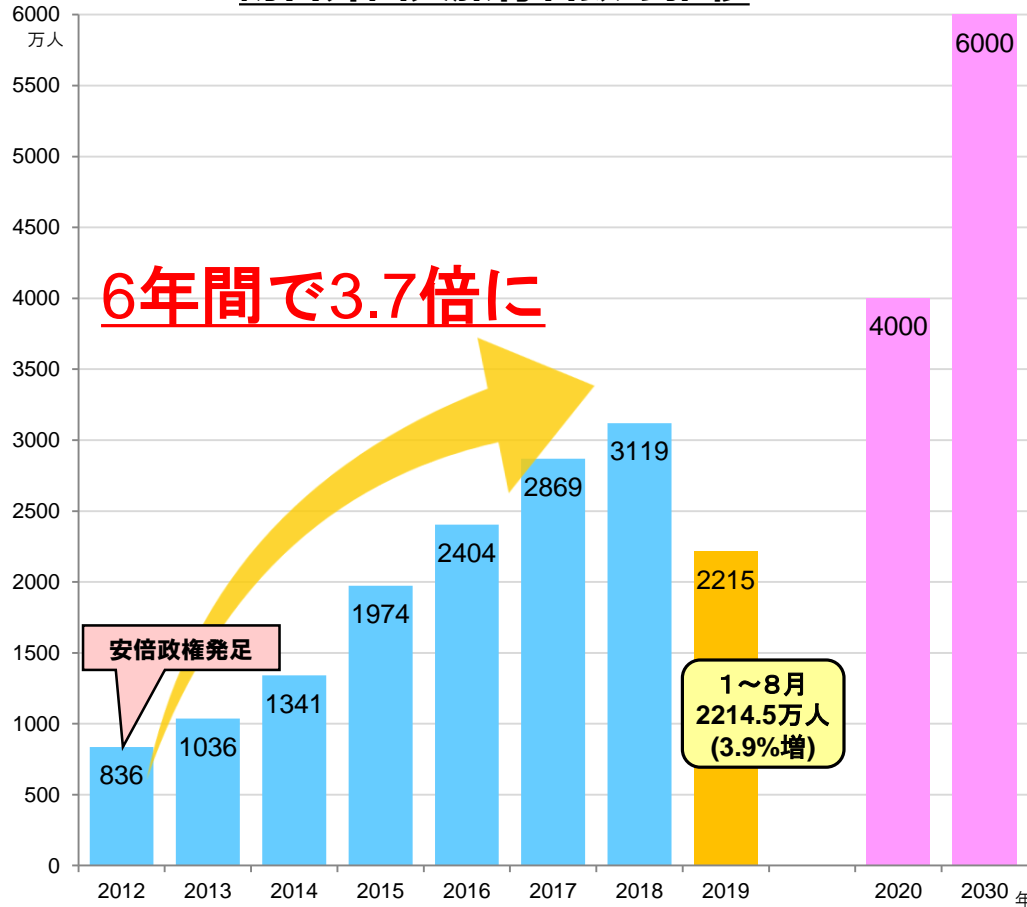
# 2020年4,000万人の実現に向けた観光施策について

---

## 観光庁

# 訪日外国人旅行者数及び訪日外国人旅行消費額の推移

## 訪日外国人旅行者数の推移



## 訪日外国人旅行消費額の推移

年	訪日外国人旅行消費額
2012年 (平成24年)	1兆846億円
2013年 (平成25年)	1兆4,167億円
2014年 (平成26年)	2兆278億円
2015年 (平成27年)	3兆4,771億円
2016年 (平成28年)	3兆7,476億円
2017年 (平成29年)	4兆4,162億円
2018年 (平成30年)	4兆5,189億円

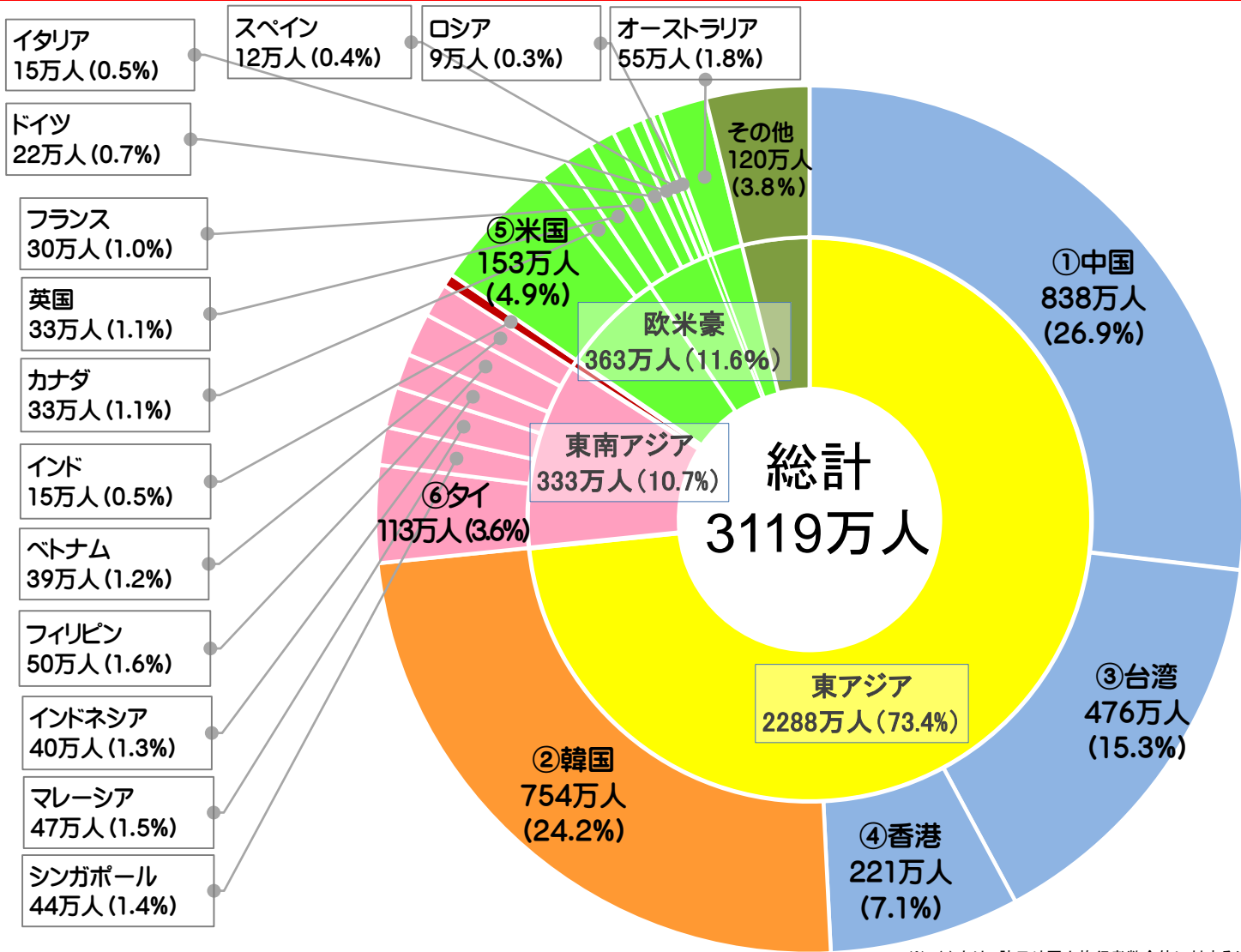
資料：訪日外国人消費動向調査（観光庁）

注1) 従来は空港を利用する旅客を中心に調査を行っていたが、短期滞在の傾向があるクルーズ客の急増を踏まえ、2018年からこうした旅客を対象とした調査も行い、調査結果に反映したところ。従来ベースの推計方法で2018年の旅行消費額を推計すると、4兆8千億円となる。

注) 2018年以前の値は確定値、2019年1月～6月の値は暫定値、2019年7月～8月の値は推計値、%は対前年同月比  
出典：日本政府観光局(JNTO)

- 訪日外国人旅行消費額はGDPの1%弱に相当。
- 地方での消費が1兆円を超え、地方経済に大きく貢献。
- 地方の地価が昨年27年ぶりに上昇。

# 2018年の訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)



※ ( )内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア  
 ※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。  
 ※ 数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。  
 ※ 日本政府観光局(JNTO)資料より観光庁作成

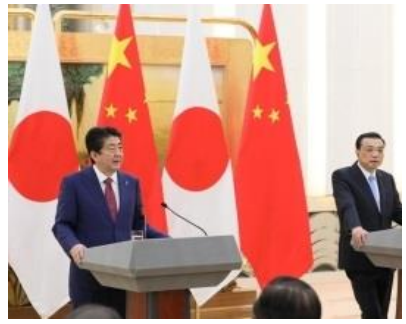
○ 英・中・韓の多言語による看板、アナウンス(特に災害・交通遅延発生時)が重要。

# 安倍政権における抜本拡大のための主な取り組み①

○ 観光庁を中心に各省庁があらゆる施策を講じて「観光立国」実現に取り組んでいる。

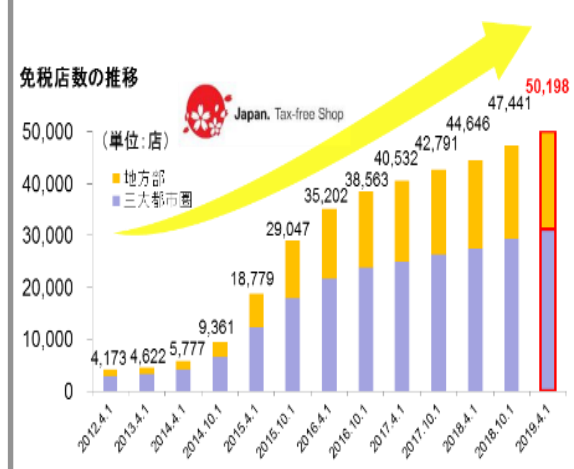
## ・ビザの戦略的緩和（主要な緩和の一例）

- 2013年  
タイ IC旅券ビザ免除  
マレーシア IC旅券ビザ免除再開
- 2014年  
インドネシア IC旅券事前登録制によるビザ免除
- 2015年  
中国 相当な高所得者用数次ビザの導入
- 2017年  
ロシア 数次ビザ導入  
中国 十分な経済力を有する者向け数次ビザの導入



日中首脳会談でビザ緩和を公表  
(2019年1月導入)

## ・消費税の免税店拡大、免税品拡大



- (2014年10月運用開始)  
・一般物品に加え、消耗品も消費税の免税対象に追加  
→ 地域の名産品も対象に
- (2016年5月運用開始)  
・一般物品の購入下限額引下げ  
→ 下限額を1万円超から5千円以上に
- (2018年7月運用開始)  
・一般物品と消耗品の合算  
→ 合算で下限額5千円以上に

## ・空港・港湾の受け入れ体制（CIQ）の拡大



最新技術の導入  
(顔認証ゲート)



訪日客増に対応した体制強化

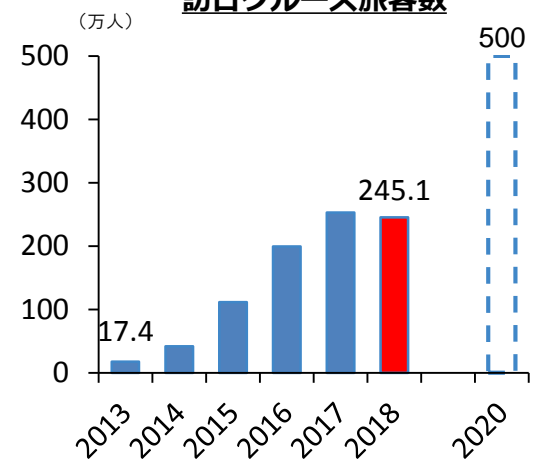
## ・空港の機能強化・クルーズ船の増大

### 空港発着枠の拡大

- 2020年  
成田空港：+約4万回  
羽田空港：+約4万回  
那覇空港：+約8万回

約600万人の枠の追加

### 訪日クルーズ旅客数



# 安倍政権における抜本拡大のための主な取り組み②

## ・「当たり前」の基本的な受入環境整備



観光地の多言語解説



無料Wi-Fi  
駅・空港での  
多言語アナウンス



キャッシュレス対応

## ・外国人が楽しめる新たなコンテンツの開発



農泊



スノーリゾート



グランピング

## ・キラーコンテンツの利用拡大



迎賓館



首都圏外郭放水路



皇居東御苑



三の丸尚蔵館

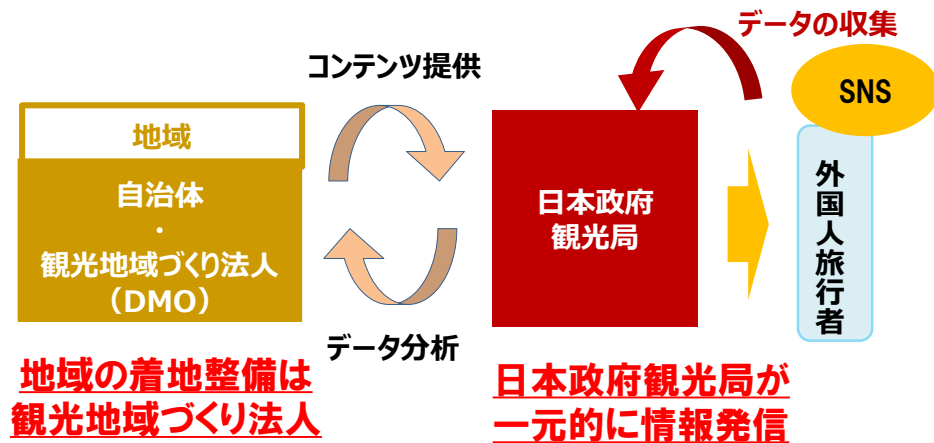


伊勢志摩国立公園



二条城

## ・日本政府観光局と地域の適切な役割分担



・新たな観光政策に必要な財源を確保するために、本年1月から国際観光旅客税（来年度予算要求額520億円）を導入

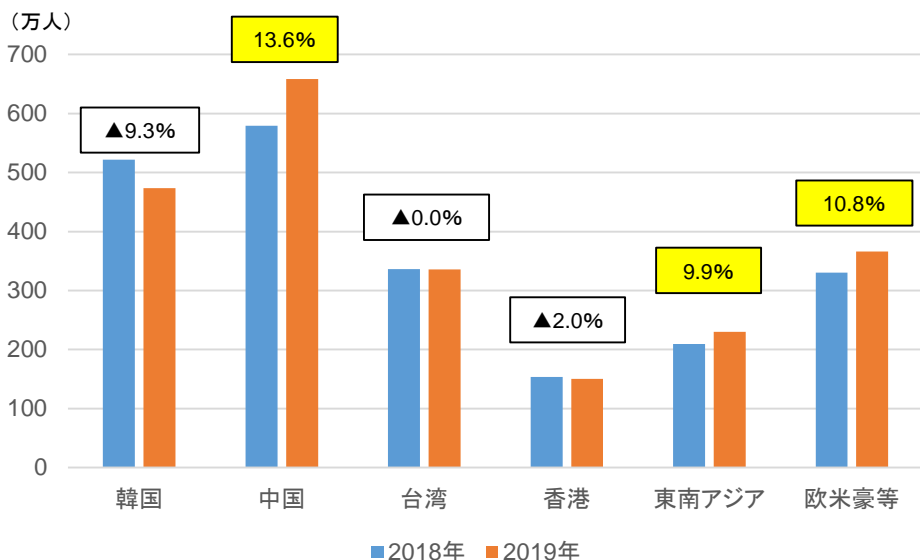


- ・ビザの戦略的緩和や免税店の拡大を図る。
- ・顔認証システムの導入やCIQの計画的な体制整備等による出入国の迅速化、空港の機能強化(※)、地方空港への直行便就航等を推進し、相互交流の拡大を図る。  
※羽田空港約4万回・成田空港約4万回の首都圏空港の発着容量拡大、那覇空港第二滑走路新設等。
- ・クルーズ旅客等の満足度向上(中略)等を推進する。
- ・外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境を整備するため、多言語対応、Wi-Fi、キャッシュレス対応等に早急に取り組む。
- ・城泊・寺泊、グランピングなどの体験型宿泊コンテンツの開発やスノーリゾートの活性化(中略)を図る。
- ・国立公園の滞在環境の向上、自然体験コンテンツの充実、公的施設の更なる活用等を図る。
- ・日本政府観光局と地域(地方自治体・観光地域づくり法人)の適切な役割分担と連携強化に向けて、地域の役割は着地整備が主であることを明確化し、その周知を図るとともに、日本政府観光局が各地域の情報・魅力を海外に一元的に発信することとし、そのための体制強化を図る。デジタルマーケティング技術を活用した各地域へのコンサルティングを強化するとともに、グローバルキャンペーンを欧米豪だけでなく東アジア等にも強化し、中東・中南米などの新市場の開拓を推進する。

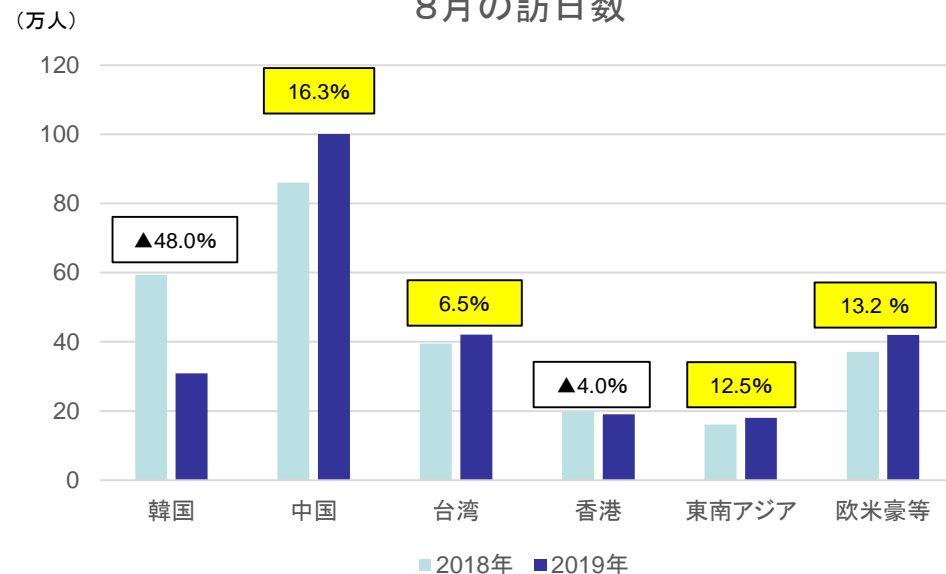
# 今年の訪日外国人旅行者の動向と対応

## 国・地域別の訪日外国人旅行者数比較(2018年比)

1～8月の訪日外国人旅行者数



8月の訪日数



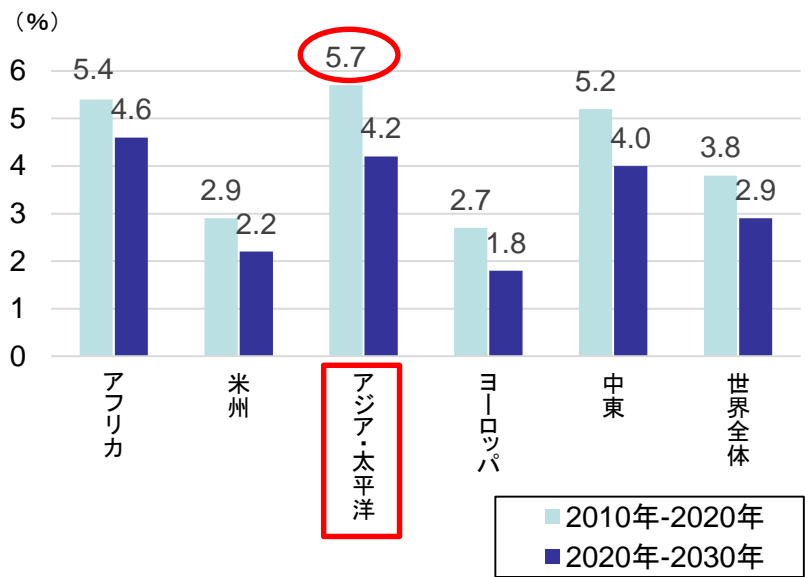
出典：日本政府観光局(JNTO)

- 韓国、香港以外の中国、東南アジア、欧米豪は堅調。
- ・多言語対応や無料Wi-Fiなどの受入環境整備
- ・2020年春の羽田、成田、那覇、新千歳空港の発着枠拡大の活用
- ・ラグビーワールドカップ2019日本大会・オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う訪日客の地方への誘致

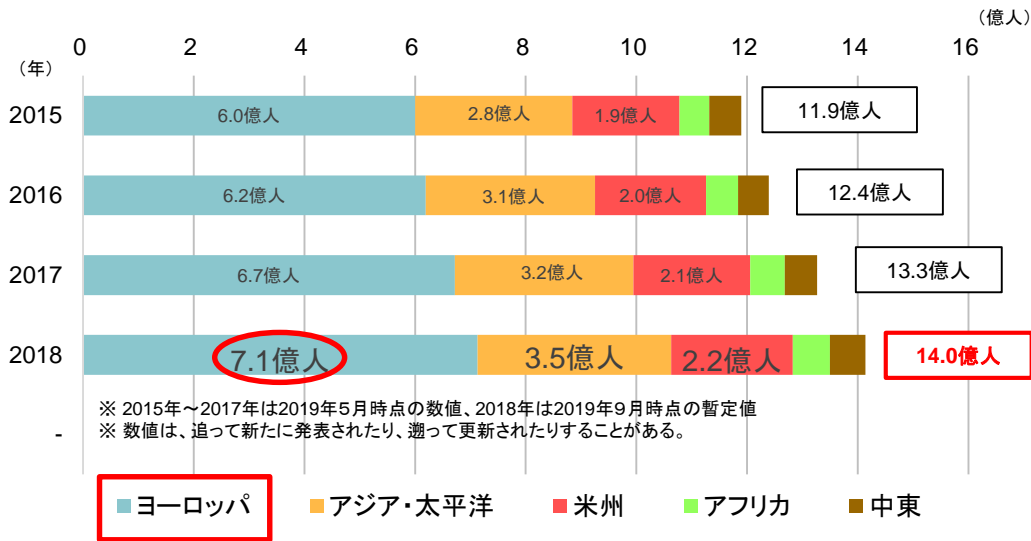
幅広い国から各地に外国人旅行者が訪れるように、各省庁一体となって取組を進める。

# 拡大する国際観光市場(長期予測)

## 近年のアウトバウンドの年平均伸び率



## アウトバウンドの推移(地域別)



【出典】国連世界観光機構 (UNWTO)「Tourism Towards 2030 Global Overview」、 「Tourism Highlights 2019 Edition」より観光庁作成。

- 世界の海外旅行需要は毎年約4%増の見込み。
- アジア・太平洋地域は世界全体の伸び率を上回る毎年約6%増の見込み。

- 訪日外国人旅行者の内訳は約85%がアジア。一方、アウトバウンドが最も多いのはヨーロッパ。

急増するアジアの旅行者を取り込む。

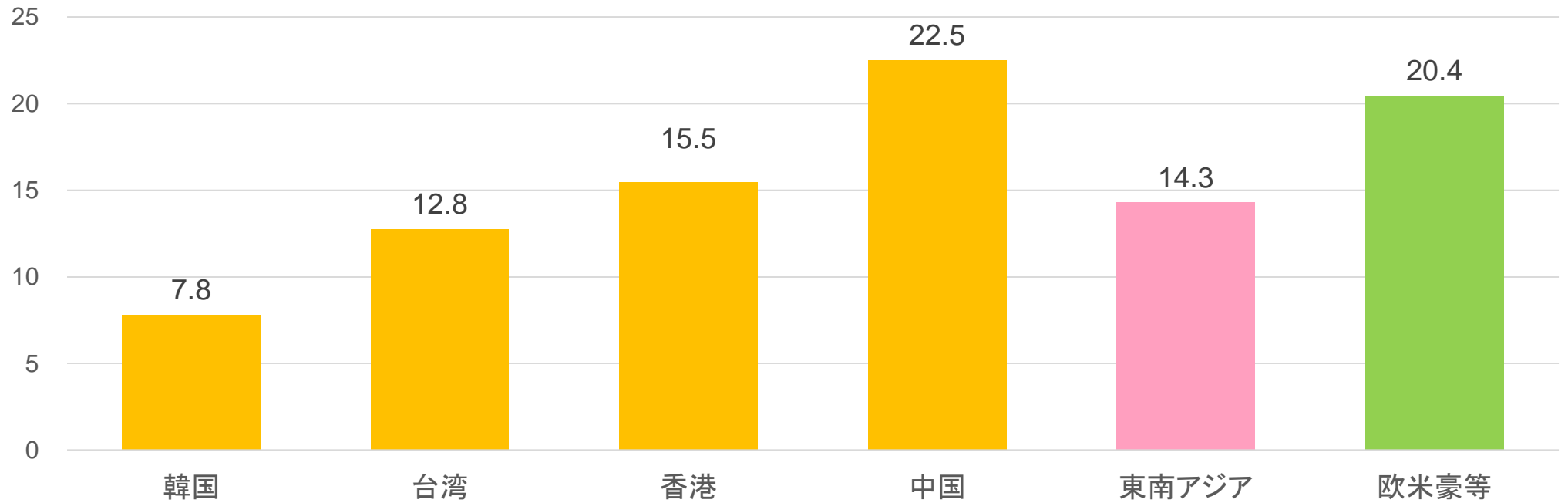
巨大市場のヨーロッパを取り込む。



# 国籍・地域別1人あたり旅行支出

国籍・地域別の訪日外国人旅行者1人あたり旅行支出





(万円/人)







出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」2018年全目的（一般客）

○ 欧米豪、東南アジアを含めた幅広い国から誘客するためには、多言語対応、無料Wi-Fi等の受入環境整備や、外国人が楽しめる新たなコンテンツ開発が不可欠。

# 外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備(多言語対応)

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度以降
<p><b>観光地</b> 【国土交通大臣】</p>	<p>G20関係閣僚会合 ラグビーワールドカップ</p> <p>各地域(自治体、DMO等)においてニーズに応じて多言語(英・中・韓)の看板・案内を早急に整備すべきだが、主要観光地についてはモデル的に直ちに整備</p> <p>少なくとも50程度の主要観光地の整備(2019年9月18日時点で55箇所認定) (無料Wi-Fi環境整備やキャッシュレス対応等とあわせて1観光地あたり5,000万円程度の補助を想定。 1観光地あたり看板数十箇所程度の補助をイメージ)</p>  <p>&lt;デジタルサイネージ&gt; &lt;QRコードを駆使した観光案内板&gt;</p>	<p>オリパラ東京大会</p> <p>更なる対応(2021年までに100の主要観光地を抜本的に改善)</p>  <p>&lt;観光案内所における翻訳機器を用いた多言語対応&gt;</p>	
<p><b>交通機関(鉄道等)</b> 【国土交通大臣】</p> <p>観光庁長官が重点線区を改めて指定</p> <p>各社が重点線区における多言語対応等の計画を策定</p> <p>観光庁は計画を公表。各社は計画に基づいて多言語対応等を実施</p> <p>※改正前の国際観光振興法では、鉄道182線区等を指定済み ※改正国際観光振興法に基づき、項目を大幅に拡充(改正前は多言語対応のみ) ・多言語対応(災害時対応含む) ・無料Wi-Fi環境整備 ・トイレの洋式化 ・クレジットカード券売機の設置 ・交通系ICカード利用環境整備 ・荷物置き場の設置 ・インターネット予約環境の整備</p>	<p>国際観光振興法に基づき、各会社において多言語(英・中・韓)の看板・案内を整備。地域鉄道等においては国が支援</p> <p>計画が策定された重点線区のうち、地域鉄道等の公共交通機関について、少なくとも100線区が多言語対応を、無料Wi-Fi環境整備やキャッシュレス対応等とあわせて補助(2019年9月18日時点で103線区認定)</p>  <p>&lt;車内及び駅における多言語表示&gt;</p>	<p>必要に応じて計画を変更し、引き続き多言語対応等を実施</p> <p>更なる対応(2021年までに全国300線区を抜本的に改善)</p> <p>&lt;タブレット端末にマイクを近づけての多言語放送&gt;</p>	
<p><b>文化財・国立公園</b> 【国土交通大臣・文部科学大臣・環境大臣】</p> <p>世界文化遺産8地域、国立公園12公園を含む42地域で実施 ※1地域あたり約30箇所 の看板等を整備</p>	<p>各地域においてニーズに応じて多言語(英・中・韓)の看板・案内を整備すべきだが、観光資源としての価値が高い文化財・国立公園については、国が英語解説文の執筆・監修・整備作業を行っている</p> <p>前年度からの継続を含め、世界文化遺産19地域、国立公園34公園を含む106地域の英語解説文を作成した上で、翌年度までに看板等を整備 世界文化遺産13地域、国立公園28公園を含む72地域で取材実施済、解説文作成中。解説文作成後、媒体整備に着手(2019年9月末時点) ※地域の実情に合わせ1地域あたり30~80箇所程度で看板等を整備(執筆・監修作業を効率的に行うため、事業工程は2期に分けて実施。)</p>	<p>更なる対応 (世界文化遺産19地域、国立公園34公園を中心に2020年までに100地域以上で多言語解説を抜本的に改善)</p>  <p>&lt;多言語看板&gt;</p>	
<p><b>農泊</b> 【農林水産大臣】</p>	<p>全国500箇所の農泊地域について順次、多言語(英・中・韓)の看板・案内の整備を実施</p> <p>すでに、2018年度までに採択された349地域のうち149地域で多言語対応を実施(2019年3月時点) 農泊地域の多言語対応を無料Wi-Fi環境整備やキャッシュレス対応等とあわせて2か年計画で国が補助(1地域あたり上限1,200万円を補助) 2018年度は144地域を支援。2019年度は9月末時点で154地域を採択。</p>	<p>更なる対応(2020年までに全国500箇所の農泊地域で多言語対応を実施)</p>	

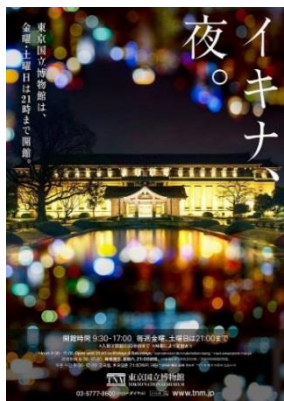
# 外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備(無料Wi-Fi)

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度以降
<p><b>観光地</b> 【国土交通大臣】</p>	<p>G20関係閣僚会合 ラグビーワールドカップ</p> <p>各地域(自治体、DMO等)においてニーズに応じて無料Wi-Fi環境を早急に整備すべきだが、主要観光地についてはモデル的に直ちに整備</p> <p>少なくとも50程度の主要観光地の整備(2019年9月18日時点で55箇所認定) (多言語対応やキャッシュレス対応等とあわせて1観光地あたり5,000万円程度の補助を想定)</p>  <p>Free Wi-Fi Takayama &lt;エリアWi-Fiの整備&gt;</p>	<p>オリパラ東京大会</p> <p>更なる対応(2021年までに100の主要観光地を抜本的に改善)</p>	
<p><b>交通機関(鉄道等)</b> 【国土交通大臣】</p> <p>全ての新幹線でサービスを開始 新幹線全駅で整備</p> <p>観光庁長官が重点線区を改めて指定</p> <p>※改正前の国際観光振興法では、鉄道182線区等を指定済み ※改正国際観光振興法に基づき、項目を大幅に拡充(再掲)</p>	<p>国際観光振興法に基づき、各会社において無料Wi-Fi環境を整備。地域鉄道等においては国が支援</p> <p>新幹線のほぼ全ての車両に無料Wi-Fi環境を整備(2019年8月末時点で整備率約8割)</p> <p>各社が重点線区における無料Wi-Fi整備等の計画を策定</p> <p>観光庁は計画を公表。各社は計画に基づいて無料Wi-Fi環境整備等を実施</p> <p>計画が策定された重点線区のうち、地域鉄道等の公共交通機関について、少なくとも100線区の無料Wi-Fi環境整備を、多言語対応やキャッシュレス対応等とあわせて補助(2019年9月18日時点で103線区認定)</p>  	<p>必要に応じて計画を変更し、引き続き無料Wi-Fi環境整備等を実施</p> <p>更なる対応(2021年までに全国300線区を抜本的に改善)</p>	
<p><b>文化財</b> 【文部科学大臣】</p> <p>国立博物館(4館)・国立美術館(6館)全館で整備済み</p>	<p>全ての国立博物館・国立美術館において、無料Wi-Fi環境を整備</p> 	<p>&lt;車内及び駅における無料Wi-Fi整備&gt;</p>	
<p><b>国立公園</b> 【環境大臣】</p> <p>原則全ての環境省ビジターセンター(71箇所)で整備済み</p> <p>新宿御苑(国民公園)のインフォメーションセンター等で整備</p>	<p>原則全ての環境省ビジターセンターにおいて、無料Wi-Fi環境を整備</p> <p>新設する全ての環境省ビジターセンター(4箇所)においても整備(2019年9月末時点で1箇所整備)</p>		
<p><b>農泊</b> 【農林水産大臣】</p> <p>すでに、2018年度までに採択された349地域のうち203地域で無料Wi-Fi環境整備を実施(2019年3月時点) 農泊地域の無料Wi-Fi環境整備を多言語対応やキャッシュレス対応等とあわせて2か年計画で国が補助(1地域あたり上限1,200万円を補助) 2018年度は144地域を支援。2019年度は9月末時点で154地域を採択。</p>	<p>全国500箇所の農泊地域について順次、無料Wi-Fi環境の整備を実施</p>	<p>更なる対応(2020年までに全国500箇所の農泊地域で無料Wi-Fi環境整備を実施)</p>	

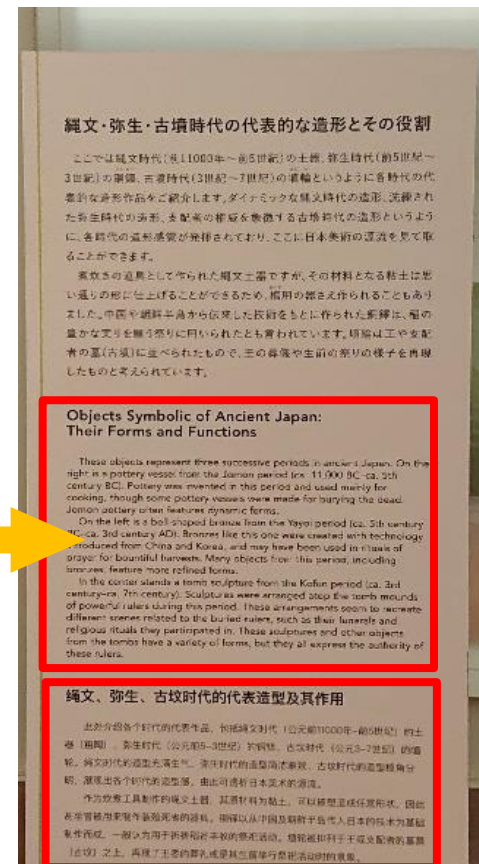
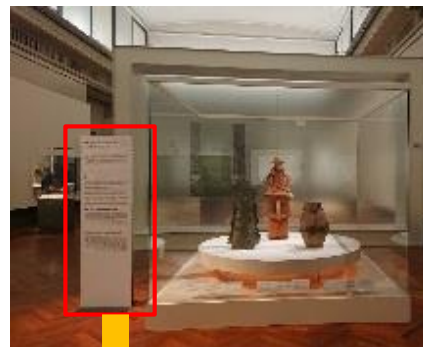
# 国立博物館・美術館

- 観覧者のニーズを踏まえ、毎週金曜日・土曜日に国立博物館・美術館は20時まで、東京国立博物館は21時まで開館時間を延長。
- 外国人にも分かりやすい多言語解説の充実。
- トリップアドバイザーでは東京国立博物館の評価が格段に上昇。(★3.97→★4.37)

## 博物館・美術館の夜間開館



## 多言語解説



**縄文・弥生・古墳時代の代表的な造形とその役割**

ここでは縄文時代(約10000年～前5世紀)の土器、弥生時代(前5世紀～3世紀)の銅器、古墳時代(3世紀～7世紀)の埴輪というように各時代の代表的な造形作品を为您介绍します。ダイナミックな縄文時代の造形、洗練された弥生時代の漆器、支配者の権威を象徴する古墳時代の造形というように、各時代の気象感覚が表現されており、ここに日本美術の源流を見て取ることができます。

高貴さの道具として作られた縄文土器ですが、その材料となる粘土は思い通りの形に仕上げることができるため、精巧な器も作られました。中国や朝鮮半島から伝来した技術をもとに作られた新羅法、稲の茎かなまりを糊り添りに用いられたとも書われています。埴輪は工や支配者の墓(古墳)に並べられたもので、王の尊厳や生前の祭りの様子を再現したものと考えられています。

**Objects Symbolic of Ancient Japan: Their Forms and Functions**

These objects represent three successive periods in ancient Japan. On the right is a pottery vessel from the Jomon period (ca. 11,000 BC-ca. 2th century BC). Pottery was invented in this period and used mainly for cooking, though some pottery vessels were made for burying the dead. Jomon pottery often features dynamic forms.

On the left is a bell-shaped bronze from the Yayoi period (ca. 5th century BC-ca. 3rd century AD). Bronzes like this one were created with technology introduced from China and Korea, and may have been used in rituals of prayer for bountiful harvests. Many objects from this period, including bronze, feature more refined forms.

In the center stands a terracotta sculpture from the Kofun period (ca. 3rd century-7th century). Sculptures were arranged atop the tomb mounds of powerful rulers during this period. These arrangements seem to recreate different scenes related to the buried rulers, such as their funerals and religious rituals they participated in. These sculptures and other objects from the tombs have a variety of forms, but they all express the authority of these rulers.

**縄文・弥生・古墳時代の代表造型及其作用**

此外为您介绍各个时代的代表作品，包括縄文时代(公元前10000年～前5世纪)的土器(陶器)、弥生时代(公元前5世纪～3世纪)的铜器、古坟时代(公元3～7世纪)的埴轮。绳文时代的造形充满生气，流行时代的造形简洁明快。古坟时代的造形雕饰分明，显现出各个时代的造型。由此可透析日本美术的源流。

作为炊煮用具制作的绳文土器，其原材料为粘土，可以根据需要进行塑形，因此非常容易被制成各种形状的器具，得以从中国及朝鲜半岛传入日本的灰土为基础制作而成。一部分用于祈求稻作丰收的祭祀活动。埴轮被并列于王塚及支配者的墓墓(古坟)之上，再现了主要的葬礼或皇位继承等祭祀活动的景象。

- ✓ 日・英・中・韓の4カ国語解説
- ✓ 日本の歴史・文化に親しみのない外国人にも伝わる内容

東京国立博物館の夜間イベント (ライトアップ・ビアガーデン)



国立九州博物館にあわせて  
太宰府天満宮、門前町も夜間延長



# 新宿御苑

- 16時半までだった開園時間を通常は18時まで、夏期は19時まで延長。約半数を占める外国人来場者数がさらに増加。(昨年比12%増)
- 2020年3月下旬に、苑内のレストハウスにスターバックスコーヒーがカフェをオープン予定。無料Wi-Fiも拡充。
- 桜開花時期のライトアップを実施、菊花壇展開催時期・紅葉時期も実施予定。

## 開園時間の延長・拡大

<従来> 通年午前9時～午後4時30分

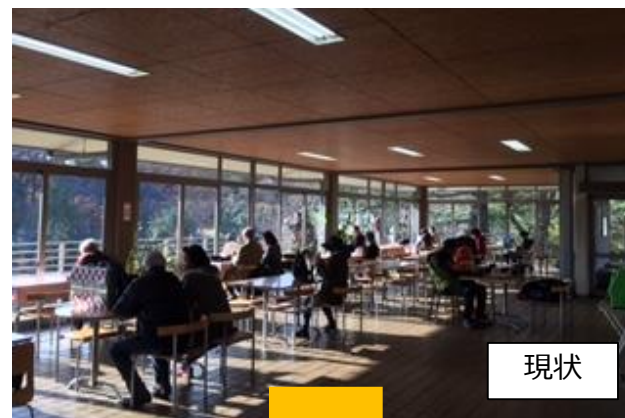
<今春から>

3月15日(※)～9月30日 ～午後6時

7月1日 ～8月20日 ～午後7時

※今年は3月19日～

## カフェの開設



現状



改修後(イメージ)



夜間イベント(映画上映会)



旧洋館御休所の開館拡充



# 国立公園

○ 世界水準の「ナショナルパーク」を実現するため、訪日外国人旅行者を惹きつける取組を国立公園で展開。公共施設への民間カフェの導入、野生動物ツアーなどの体験型コンテンツの開発、グランピング、廃屋撤去による利用拠点の景観改善などにより、民間を活用した国立公園の整備を推進。

## → 国立公園満喫プロジェクト

○ 2018年の国立公園を訪れた訪日外国人旅行者数は約694万人(前年比15.7%増)。訪日外国人旅行者全体の伸び率8.7%を上回る伸び率。

### 民間カフェの導入



景色を一望する展望台カフェ  
(伊勢志摩国立公園)



ビジターセンター内への開設  
(阿寒摩周国立公園)

### 体験型コンテンツの開発



野生動物を見るツアー  
(慶良間諸島国立公園)

### グランピング



(阿蘇くじゅう国立公園)

### 景観の改善



廃屋撤去前



撤去後(特産品販売、カフェ開設)

(大山隠岐国立公園)

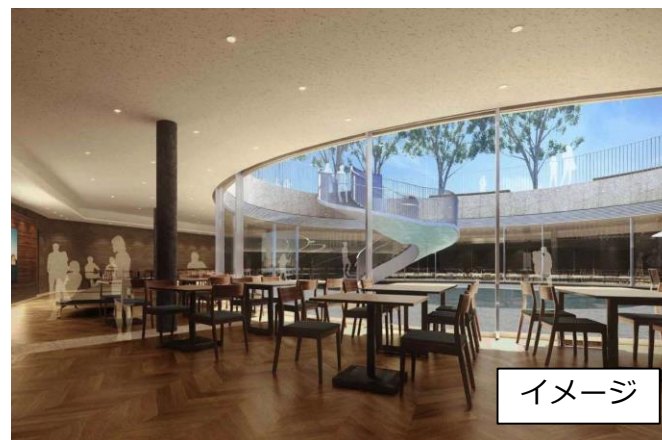
# 迎賓館赤坂離宮

- 年間開館日数を10日から274日へ拡大。参観料(通常時:1,500~2,000円)を徴収。
- ユニークベニューとしても活用。  
(例) Googleがイベントを開催。約5,300万円で貸し出し。
- 2020年4月下旬に迎賓館赤坂離宮前の公園に、カフェ等を有する休憩所が開設予定。



旅行会社による貸切見学ツアー

	2015年度 (特別公開)	2018年度
開館日数	<b>10日</b>	<b>274日</b>
参観料	無料	1,500円~ 2,000円 (通常時)
入館者数	<b>約2万人</b>	<b>約51万人</b>



イメージ

カフェ等を有する休憩所の開設



# 皇居東御苑・京都御所・三の丸尚蔵館

- 皇居東御苑は開園時間を延長。昨年は約165万人の来訪者のうち約43%が外国人。
- 京都御所は事前予約不要の一般公開(月曜休み)により、来訪者が約2倍に増加。
- 三の丸尚蔵館は2025年までに展示面積を約8倍に拡張(収蔵品約9,600点)。

皇居東御苑



京都御所



三の丸尚蔵館



展示スペースを約8倍に拡大  
(約160㎡→約1,300㎡)

<開園時間>

本年6月1日から  
日没時間を考慮して  
30分又は1時間延長  
(3月1日～9月30日の間)

<来訪者数>

2015年度：約37万人



2017年度：約70万人

主な収蔵品



伊藤若冲「動植綵絵」

狩野永徳「唐獅子図屏風」